

安定収入を実現する持続可能な農業経営に向けたチャレンジ支援

価格変動や気候リスクに対応できる仕組みを整え、生産性向上やコスト削減を進めます。販売方法の多様化や加工品開発により付加価値を高め、持続可能な経営を目指します。

施策目標3

経営の安定と収益性の向上



基本方針

- ①省力化機械・ICT、新品種・栽培技術の導入による生産性向上
- ②機械・設備投資の最適化や資材コストの削減、組織間の連携・統合による経営効率化
- ③契約栽培や直販の推進を通じた販路拡大による価格安定と地元消費の促進
- ④従業員の確保に向けた取り組みと安定した労働力の確保
- ⑤特徴ある栽培方法や新品種の導入、加工品開発などによる農産物の高付加価値化の促進

基本方針	内容	想定される施策
①省力化機械・ICT、新品種・栽培技術の導入による生産性向上	<ul style="list-style-type: none">・省力化機械、スマート農業機械などの導入を支援し、生産性向上を図ります。・新品種の導入や栽培技術向上により収量を増やすなど、生産性向上の取り組みを支援します。・小規模農家向けにシェア型機械導入を進め、コストを削減します。・効率的な経営判断や分析を可能にするIT技術導入を支援します。	<ul style="list-style-type: none">・スマート農業導入支援事業の活用・スマート農業機器体験会・研修会等の実施
②機械・設備投資の最適化や資材コストの削減、組織間の連携・統合による経営効率化	<ul style="list-style-type: none">・緑肥やたい肥の利用、バイオマス燃料の利用による経費削減の取り組みを支援します。・農機具・乾燥施設を地域で共有し、作業効率を高めます。・集落営農組織等における作業受委託を拡大し、規模の大小を超えて協力できる仕組みを作ります。	<ul style="list-style-type: none">・緑肥・たい肥・バイオマス燃料等の購入補助・農機シェア・集落営農法人経営強化支援事業の推進

基本方針	内容	想定される施策
③契約栽培や直販の推進を通じた販路拡大による価格安定と地元消費の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食・病院食など公共分野における地産地消を推進します。 ・観光・飲食業などと連携した地産地消を推進します。 ・小売店や加工業者との契約栽培拡大を支援します。 ・直売所やマルシェ等を強化し、農業者と消費者の結びつきを促進します。 ・オンライン直販や宅配を推進し、安定した顧客確保につなげます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食や直売所への契約供給 ・農産物認証制度の導入検討 ・商談会の実施
④従業員の確保に向けた取り組みと安定した労働力の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用就農資金制度を活用し労働力確保を図ります。 ・農福連携による農作業の受委託を推進します。 ・最低賃金上昇による人件費負担増加を支援します。 ・経営研修やマーケティング研修を実施し、販売戦略や収益管理に強い農業者を育成します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用就農資金制度の活用 ・農福連携促進 ・農業経営塾の参加促進 ・国県の各種制度の活用
⑤特徴ある栽培方法や新品種の導入、加工品開発などによる農産物の高付加価値化の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・特徴ある栽培方法への取り組み、新たな品種の導入、6次産業化・加工品開発などによる付加価値創出へ向けたチャレンジを支援します。 ・観光農業や体験型イベントを推進し、地域への交流人口を増やします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化推進事業の活用 ・異業種間マッチング交流会等の開催 ・地元産品加工品開発と販売 ・小規模事業者持続化

評価指標

指標	総合計画	現状値 (2025年)	目標値 (2030年)	備考
農業産出高		303千万円	330千万円	現状値：R5市町村別農業算出額より
農産物販売金額500万円以上の経営体数		87経営体	92経営体	現状値：農林業センサス2020より